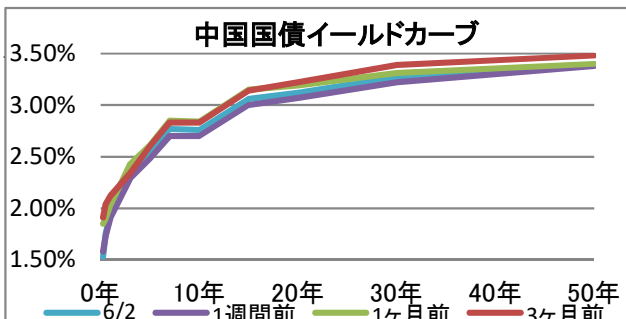
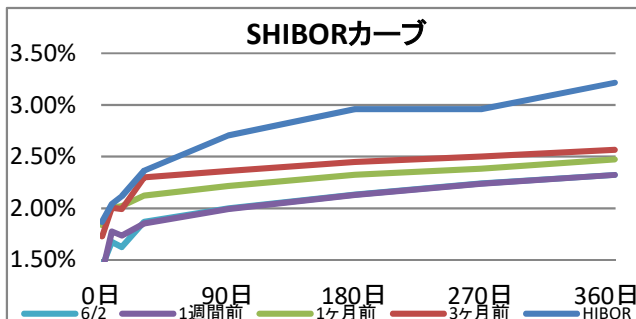


基準レート		2022/6/2	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.7095	-0.0292
	JPY/CNY	5.1562	-0.1526
SHIBOR	3M	1.9990%	+0.0040%
国債利回り	10年	2.76%	+0.06%
上海総合指数		3,195.46	+65.22



(1) 概況

国際金融市場では、米国と欧州で急速な金融引き締めへの懸念が再燃する中、米国では地区連銀報告や雇用指標でやや減速感がみられる状況に転じ、OPECの原油増産も決まり、米雇用統計まではリスクオフの巻き戻しが入っていたが、米雇用統計がFRBの積極的引き締め見通しを修正する内容ではなかったことから、債券利回りは高止まりし、株式市場は下落に転じている。外為市場では、急速な金融引き締めが予想されているドルとユーロが強含む展開となっている。

中国金融市場では、ゼロコロナ政策に変更がないことへの懸念はあるものの、経済指標改善やロックダウン解除、政府の景気対策への期待等からリスクオンに転じ、株式市場は上昇、債券市場は下落（利回り上昇）にそれぞれ転じている。外為市場では中国の景気回復期待と米国の金融政策見通しにより6.7を挟んでやや大幅な値動きとなっていたが、端午節と米雇用統計を控えてドルロングの解消が入って前週末比で小幅な元高水準で週末を迎えている。

中国では、上海でのロックダウンが緩和され、中国人民銀行上海総局は金融機関に感染対策を施した上で秩序ある職場復帰を要請し、銀保監会も政府の33項目の網羅的な経済措置を受けたコロナ感染の影響を受けた企業への融資強化に関する通知やグリーンファイナンス（緑色金融）ガイドを出し、政府の景気刺激策を金融面で支援する姿勢を示している。他方、銀保監会は保険会社の資金運用における関係者取引の監督管理法を発布して金融規制強化一段と進めている。また、国家発展改革委員会は全国統一大市場建設加速に関する意見を、国有資産監督管理委員会は国有資産取引に関する通知を発出している。

(2) 金融市場調整

中国人民銀行は、リバースオペ期日400億元に対し、新規リバースオペ400億元による中立調整を実施。

(3) 主な経済指標

- ・ 国家統計局PMI (5月) は、製造業が49.6% (4月47.4%)、非製造業が47.8% (同41.9%)、総合で48.4% (同42.7%) と、ロックダウンの長期化で悪化していた4月からは大幅に改善したものの、3ヶ月連続で50を下回っている。
- ・ 財新製造業PMI (5月) は、48.1 (4月46.0) と改善しているが、こちらも3ヶ月連続で50を下回っており、コロナ以前から悪化傾向を示していた雇用状況はロックダウンの影響もあって改善は見られない。

② 資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.4320%	1.5500%	1.5500%	
1W	1.6740%	1.6500%	1.4900%	1.4000%
2W	1.6250%	1.6600%	1.8000%	1.4200%
1M	1.8700%	1.8700%	2.1000%	1.8000%
3M	1.9990%	3.8000%	2.0000%	1.8500%
6M	2.1330%			2.0100%
9M	2.2410%	3.1500%		2.2500%
12M	2.3230%			2.3300%

四半期末を控えているものの、足もとの資金需給は安定し、地方債の発行増や景気刺激関連の銀行貸出による資金需要も中国人民銀行が供給するとの安心感から金利水準は概ね落ち着いている。ただし、ターム物は1ヶ月の2.0%前後での出会いを除き限定的。

NCDは、6月に入り四半期末越えが意識されて金利水準がやや上昇しているものの、安定を重視する金融当局の姿勢もあって、資金需給に対する懸念がないことから大きな変動にはなっていない。ターム物の金利水準は、1ヶ月が1.8%前後、3ヶ月が1.8%台前半、6ヶ月が2.0%前後、1年が2.33%前後に小幅に上昇。

(2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	0.75%	0.77%
1W	0.78%	0.80%
1M	1.00%	1.10%
3M	1.50%	1.60%
6M	2.00%	2.10%
12M	2.50%	2.70%

9月以降の米国金融政策に不透明感があり、端午節や米雇用統計を控えていること等から、中国国内市場は短期取引中心でターム物は1ヶ月の1.1%前後での出会いを除き限定的。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.53%		1.86%	1.95%	2.14%
6M	1.75%		2.02%	2.15%	2.35%
1Y	1.96%	2.14%	2.34%	2.36%	2.56%
3Y	2.34%	2.53%	2.77%	2.85%	3.25%
5Y	2.56%	2.76%	3.05%	3.27%	3.99%
10Y	2.76%	3.04%	3.41%	3.58%	4.38%

債券市場では、経済指標の予想を上回る改善とロックダウン解除による景気改善期待に加え、地方債の発行加速への懸念や欧米での急速な金融引き締め懸念の再燃による債券利回りの上昇もあって、中国の債券利回りは上昇に転じている。10年債利回りは2.76%に上昇し、米10年国債2.91%との差は15bpに拡大している。

イールドカーブは、全体的に上昇する中で景気回復期待と四半期末を意識した短期金利の上昇懸念によりフラットニングが進んだ。また、クレジットスプレッドは、短期では信用債利回りの上昇により拡大する一方、中長期では利率債利回りの上昇により縮小する区々の展開となった。

④先物為替市場

	USD / CNY
1W	10.2 / 10.7
1 M	47.0 / 48.0
3M	81.0 / 83.0
6M	72.0 / 75.0
9M	45.0 / 50.0
12M	12.0 / 18.0

対ドル基準レートは6.7095と前週末比-292pipsのドル安元高、対円基準レートは5.1562と同-1526pipsの円安元高と、中国の景気回復と米国の金融政策をめぐる思惑から方向感なく人民元高での設定が続いた。中国国内市場では、上海のロックダウン解除や経済指標改善による景気回復期待から人民元高で始まり、FRBの急速利上げへの懸念が再燃するとドル買いが強まったものの、端午節を前に人民元の買戻しが入り6.67台で週末を迎えている。

先物は、週半ばに国外資金の流入によると思われる動きから長めの期間でスワップ幅が一時的に拡大していたものの、その後は概ね元の水準まで戻す、行ってこいの展開。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	1.88%		1.80%
6M	1.98%	2.16%	1.88%
9M	2.05%	2.27%	1.93%
1Y	2.09%	2.35%	1.95%
3Y	2.33%	2.65%	2.06%
5Y	2.54%	2.95%	
7Y	2.70%	3.12%	
10Y	2.88%	3.33%	

スワップ金利は、短期の基準金利と債券利回りの上昇に伴い全般的に上昇に転じた。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドも基準金利の上昇もあり、拡大に転じている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等を負担頂くことがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。